

こんね!!



現在、唐津市では市民会館と曳山展示場の整備を進めており、市民の方々の想いを丁寧に汲み取り、計画に反映させることを目的とした作業部会を実施しております。

第4回目の作業部会では模型を用いたワークショップを実施しました。実際に模型を動かして話し合うことで、スケールや動線、周辺環境との関係性など、現実的な視点から話し合いが進められました。

現在、市民会館と曳山展示場の間に車や人が通り抜けられる通路があり、展示場側には複合化の必要があり、この通路の配置が重要なポイントです。

今回、通路配置を①北側、②中央（既存）、③南側、④フリー案、の4パターン（下図黄色のエリア）に分けた上で、ブロックプランを検討していただきました。

それでは、皆さんのご意見を紹介します。

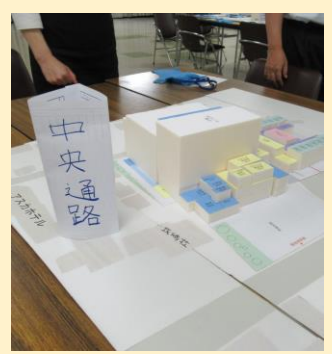
模型を使ったワークショップを実施しました!

新しい施設のブロックプランを考える!

①中央通路チーム



- 広い搬入口を正面広場側に配置
- ホールの舞台を東側に、客席を西側に配置
- 舞台を東側にすると正面が裏手になるという意見
⇒ ガラス張りの小スタジオやリハーサル室を東側に配置し、外を通る人が中の様子を見ることができると面白くなるのではないかな?



②北側通路チーム



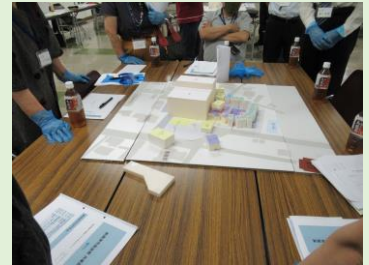
- 曳込み時の混雑緩和のために東西に曳山を設置
- 市民会館イベント前後の車両混雑が課題
⇒ 機械室などを地下に配置し道路を広げた
- 市民会館と曳山展示場をつなぐ共用部分は、時間区分を設けて人の出入り・通過を可能とし、賑わいを創出したい



③南側通路チーム



- 💡出来るだけ狭い場所を活用し、ゆったりできるところはゆったりできるように考えた
- 💡南側道路であれば搬入がしやすい
- 💡曳山の展示については、ぐるりと周る形に
⇒中央部分を見学エリアとし、ゆったりみられる場
- 💡リハーサル室をホールの横に配置
⇒屋内外からの出入りが自由になり、演奏会も開催できるのではないかと考えた
- 色々な準備もやりやすいのではないかと考えた



④フリープランチーム



- 💡正面から入り曳山をパノラマ的に見せる形
- 💡見学エリアについて、1F、2F又は3Fを利用し、上からも下からも曳山を見せる
- 💡通路は南側とし曳山は南側から出し入れ
- 💡建物の正面性を見せるために神社側の通りから、リハーサル室の下を抜けて展示場に入る
- 💡日影規制や斜線制限について、大ホールや客席を若干地下に埋めるなどして、対処できるのではないかと考えた
- 💡大ホールの楽屋は積層し、楽屋入口は南西側として、エレベーターの上下で対応できるのではないかと考えた
- 💡曳山とホールの配置を南北反転しても成り立つ案



☞当日のコロナウィルス対策について

- ★マスク着用
- ★受付時の検温、アルコール消毒
- ★模型に触れる際はゴム手袋の着用（任意）
- ★広い会場、ゆとりのあるスペースで実施

《お問い合わせ先》



唐津市政策部新市民会館建設推進室
TEL 0955-53-7129
FAX 0955-72-9182